

令和2年度 北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議
第3回地域包括支援に関する会議 会議録(全文)

- 1 開催日時
令和3年3月23日(火) 18:30~19:30
- 2 開催場所
北九州市役所 15F 15C 会議室 (WEB 開催)
- 3 出席者等
 - (1) 構成員
安藤構成員、伊藤構成員、今村構成員、大丸構成員、佐藤構成員、
重藤構成員、白木構成員、杉本構成員、高崎構成員、田上構成員、
中村構成員、森野構成員、和田構成員
 - (2) 事務局
総合保健福祉センター担当部長、地域福祉部長、認知症支援・介護予防センター
所長、地域リハビリテーション推進課長、長寿社会対策課長、地域支援担当課長、
介護保険課長、地域医療課長、健康推進課長ほか
- 4 会議内容
 - (1) 報告
 - ・第2次北九州市いきいき長寿プラン(最終案)について
 - ・介護予防・生活支援サービス事業実施状況について
 - ・「まちかど介護相談室」の実施状況について
 - ・「とびうめ@きたきゅう」について
 - (2) 議事
 - ・令和3年度介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の
新規受託事業所について(非公開)
- 5 会議経過及び発言内容

報告(1) 第2次北九州市いきいき長寿プラン(最終案)について・・・資料1

事務局：報告(1)について資料1に沿って説明

代表：事務局の方からご説明いただいた地域リハビリテーション推進イメージ図というのが、ありましたけれども、このリハビリテーションサービスの整備と充実の一番外側の円というのは、間接的に本人やご家族への支援に繋がってるっていうイメージなんですか、それとも直接的にも繋がってるというイメージなのですか。

事務局：はい、ご意見ありがとうございます。外側の円というのはちょっとわかりにくい部分であるとは思いますが、いろんな専門職の方が外側の輪へという話ですので、どちらかというとサービスっていう形での位置付けというよりは、専門職としての関わ

りの位置付けというふうにお考えだったら、よりわかりやすいのかなというふうに思っております。

そういう様々な関係者が、地域と一緒に働きかけながら協力し合いながら、力をつけていくと。そういうふうなイメージでございます。

報告（２）介護予防・生活支援サービス事業実施状況について・・・資料２

事務局：報告（２）について資料２に沿って説明

報告（３）「まちかど介護相談室」の実施状況について・・・資料３

事務局：報告（３）について資料３に沿って説明

代表：今の時点で、特段何か課題が見えてきたということはないですか。

事務局：なかなか知られていないので、行政としては、PRをと思っております。介護保険のパンフレットに掲載したり、地域包括支援センターのパンフレットに掲載したり、若い介護者の方にもということで中小企業のいろんな支援施策が載ったガイドブックにも掲載しています。やはり、隅々まで知られていないというのが課題だなと思っております。

報告（４）「とびうめ@きたきゅう」について・・・資料４

事務局：報告（４）について資料４に沿って説明

代表：質問やご意見ございませんか。

構成員：この「とびうめ@きたきゅう」は、市民にどんどん広がるととても有効なツールであると思っておりますが、関係者間で共有可能な情報を拡充していけるのであれば、より有効なツールになると考えます。例えば、横須賀市には、事前に市へ終活登録しておけば、本人の医療データや、緊急連絡先、延命治療の意思、お墓のあり場所等を必要時に関係者と共有できるしくみがあります。葬儀の生前契約の状況などは、場合によっては、医療関係者にも欲しい情報になるのではないかと思いますので、今後、情報の拡充という点についても検討されてもいいのではないかと思います。

事務局：ありがとうございます。最初にまず、今の段階で提供できる、整った情報を提供しているという段階でございます。もちろん、「とびうめ@きたきゅう」は、システムでございますので、医療介護関係者、特に医療介護連携プロジェクト会議に入っているいらっしゃる構成員の皆様のご意見をいただきながら、また必要な情報については適宜、入力負担とか、また様々な問題が出てくるとは思うんですけども、地域の皆さんに使っていただけるような形でですね、どのような情報が提供されれば、閲覧できればいいのかということも含めて、今後検討していきたいと考えております。

代表：調査の中で、ケアマネさんと病院の情報のやりとり、連絡のやりとりがありましたよね。ここは、結構重要なところだと思う。

これは、それぞれの情報を出したかっていうことで完結させて集計しているのか、戻ってきてを1単位としているのか、そこが重要だと思いますが、いかがですか。

事務局：前者の方です。ケアマネ事業所からの回答でしたので、病院からまず連絡をもらったかどうかということを知りました。これとは別に、ケアマネさんから情報が来たのかを聞いています。拾おうと思えば、呼応があったかということは、拾えます。

代表：やりとりっていうところ、ネットワークっていうところを見ていくためにはそういうところも必要と思います。

代表：その他いかがでしょうか。

副代表：今回どうしても最初に定めた医療介護連携ルールが徹底されていない。今後、どうして徹底されないのか検証して、とにかく改善してルールを徹底できるようにしたい。

議事（1）令和3年度介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の新規受託事業所について（非公開）